

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0587 ◆◆◆

20/06/10

【ドル/円、中短期の「ドル高・円安」基調に】

3月9日に記録したドル/円の101.19円が「何らかのドル安値」であることは間違いないものの、具体的な確証が得られていなかった。しかし、遅れ馳せながら当レターでも何度かレポートしているドル安サイクルにおいて、少なくとも「短期波動」と「中期波動」のボトムとして、ようやく確定した感がある。仮に、そうした見方が正しいとすれば、ドルは最低でも今後数カ月にわたりドル高・円安方向への値動きをたどりそう。足もとは110円台乗せのトライを失敗した感が見受けられるが、今後は多少の時間を掛けつつもしっかりと越えていくことになるのかもしれない。

◎3月安値101.19円、「中期波動」と「短期波動」でドル底値とほぼ確定

ドル/円における「ドル安サイクル」については、過去の当レターでも何度かレポートしている。詳細はバックナンバーを当たって欲しいが、ドルの安値と次のドル安値を結んだ「ドル安サイクル」は、期間により少なくとも大きく3つあると言われていた。それをもとにドルが暴落、今年の「フラッシュクラッシュ」を記録した3月9日の記憶がまだ生々しい同11日に、筆者は「弱気ムード強いが、サイクル的にドルは買い場か」と報じている。興味のある方は、是非ともバックナンバーを参考にいただきたい。

その際に使用した、3つの「ドル安サイクル」について、以下で再掲載するとともに、当時とどういった変化があったのかを最初に指摘しておく(赤字は今回修正を加えた部分、かつともに「暫定値」)。

長期波動(66ヵ月)	中期波動(20-25ヵ月)	短期波動(10-15ヵ月)
・11/10/31 75.57	・11/10/31 75.57	・11/10/31 75.57
	↓	・12/09/13 77.13(11ヵ月)
	・13/06/13 9375(19ヵ月)	左同 (9ヵ月)
	↓	・14/10/15 105.20(16ヵ月)
	・15/08/24 116.15(26ヵ月)	左同 (10ヵ月)
	↓	・16/06/24 98.65(10ヵ月)
・16/06/24 98.65(56ヵ月)	・16/06/24 98.65(10ヵ月)	・16/06/24 98.65(10ヵ月)
	↓	・17/09/08 107.33(13ヵ月)
	・18/03/26 104.57(20ヵ月)	・18/03/26 104.57(7ヵ月)
	↓	・19/01/03 104.10(10ヵ月)
・20/03/09 101.19(45ヵ月)	・20/03/09 101.19(24ヵ月)	・20/03/09 101.19(14ヵ月)
	* ほぼ確定	* 確定
本来であれば2021年ごろ	早くて21年秋	年末から来年の初め!?

3つ存在するドル安サイクルのうち、当初から3月9日に示現したドル安値101.19円は日柄的にも価格的にも、「中期波動」と「短期波動」のボトムとして非常にしっくりするレベルだった。つまり、短中期波動でドル高基調に入った感を否めず、その場合、レベルはともかく、日柄的には短期波動においても今後数カ月はドル高傾向が続くことになりそう。

また、それ以上に興味深いのは、先に記したように今回修正された結果として、ヒョットすると「長期波動」においても3月安値101.39円はボトムだった可能性がなくもないことになる。正直言って、こちらはまだ確定していないことはもちろん、実をいうと筆者自身も信じていない。今後の動静如何で、如何様にも転びかねないが、いずれにしても、66ヵ月サイクルという非常に長い波動におけるドルのボトムをつけるタイミングがジワリと近づきつつあることは確かだろう。そうした意味からすると、数年スパンという超長期において、ドルは絶好のドル買い場を迎えている気もしないではない。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

